

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

当院における大腿骨近位部骨折の二次骨折予防の取り組みと問題点

1. 研究の対象

2022年9月1日から2024年4月30日までの間に、東海大学医学部附属八王子病院の整形外科で大腿骨近位部骨折に対して手術を受けられた65歳以上の方です。65歳未満であった症例を除外基準とします。

2. 研究実施期間

機関の長の許可日 から 2026年3月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的：大腿骨近位部骨折患者さんに対して二次骨折予防目的とした骨折リエゾンサービス (Fracture Liaison Service: FLS) 介入が重要とされている。FLS のリエゾンはフランス語でつながりという意味を持ち、様々な職種と連携し二次骨折を予防する取り組みのことです。当院は2023年7月より FLS 導入を開始したこともあり、FLS 導入前後の骨粗鬆症治療継続について調査し問題点を検討することを目的としています。

方法：大腿骨近位部骨折に対して手術を施行した患者さんのうち65歳以上の患者さん154例を対象として診療録を用いて後ろ向きに調査します。2022年9月1日から2023年6月30日の FLS 導入前91例と、2023年7月1日から2024年4月30日の FLS 導入後63例の2群に分類し比較検討を行います。評価項目は、手術時年齢、性別、手術待期間、転院になっ

た割合、合併症率、再診率、骨粗鬆症治療導入率、継続率、骨粗鬆症治療薬内訳を評価します。この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：診断名、手術時年齢、性別、手術待機期間、転院になった割合、合併症率、再診率、骨粗鬆症治療導入率、継続率、骨粗鬆症治療薬内訳。
- ・試料：該当しません。

5. 情報の提供先・提供方法

この研究は、該当しません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5094）
研究責任者 整形外科 横山 勝也
問い合わせ担当者 整形外科 横山 勝也